

科目名	果樹概論	科目番号	果-1
担当教員	掛鯛吉洋(農業経営課専門指導員)	科目区分	専門教育科目
対象学年、コース	1学年 果樹園芸コース	開講時期	4月
単位数	1	必須・選択の別	必須
授業目標	果樹栽培を学ぶ上での基礎知識を理解する。		
授業概要	果樹栽培の基本技術や専門用語など、基礎的事項を幅広く講義する。		
授 業 計 画	第1時限	果樹の栽培と利用	
	第2時限	果樹の一生と1年	
	第3時限	各器官の成長と果実生産	
	第4時限	果樹の適地	
	第5時限	基本になる栽培管理技術	
	第6時限	土壌管理・施肥法等	
	第7時限	苗木の生産と果樹園の開設・整備	
	第8時限	テスト	
		⑩1回に2時限分を実施する	
テキスト、参考書	「果樹栽培の基礎」、果樹栽培指導指針(農業生産流通課)等を参考にする		
成績評価法	主に試験の成績により評価する		
その他	果樹コースで購入した書物も参考にすること		

科目名	常緑果樹 I (カンキツ栽培)		科目番号	果-2
担当教員	秋山晃輝(果樹研究所)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 果樹園芸コース	開講時期	5~6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	カンキツの生理・生態的特性や主要な品種とその特性、栽培方法などを理解する。			
授業概要	本県の主要果樹であるウンシュウミカンを中心に、全国及び本県での生産動向をはじめ、生理生態、品種特性やせん定、摘果、摘蕾法等の主要な栽培方法について講義する。			
授 業 計 画	第1時限	カンキツの生産動向、樹体の特性と生理		
	第2時限	分類と来歴及び品種の特性		
	第3時限	主要な栽培管理(植栽方法、結実管理)		
	第4時限	主要な栽培管理(整枝、せん定)		
	第5時限	主要な栽培管理(土壌管理・施肥法等)		
	第6時限	商材開発(高品質化技術、選果方法等)		
	第7時限	重要病害虫の生態と防除方法		
	第8時限	復習、点検、テスト		
		⑨1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	独自に作成したプリント 「果樹栽培の基礎」等のカンキツの項を参考に編集、加筆したもの			
成績評価法	試験の成績により評価する 適宜、小テストを実施する なお、テストでは講義した内容を総合的に考察する課題を出題する			
その他	果樹コースで購入した書物も参考にすること			

科目名	落葉果樹 I (ブドウ栽培)		科目番号	果-3
担当教員	福田哲生(果樹研究所)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 果樹園芸コース	開講時期	9~10月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	ブドウの生理・生態的特性や主要な品種とその特性、栽培方法などを理解する。			
授業概要	ブドウについて、全国及び本県での生産動向をはじめ、生理生態、品種特性やせん定、ジベレリン処理、摘房、摘粒法等の主要な栽培方法について講義する。			
授業計画	第1時限	経営上の特徴、生産動向、分類と来歴及び品種の特性		
	第2時限	樹体の特性と生理、主要な栽培管理(植栽方法、整枝せん定法等)		
	第3時限	主要な栽培管理(新梢管理、花穂整形、ジベレリン処理等)		
	第4時限	主要な栽培管理(摘房、摘粒、袋掛け、収穫等)		
	第5時限	主要な栽培管理(土壌管理・施肥法等)、生理障害の症状と予防方法		
	第6時限	重要病害虫の生態と防除方法		
	第7時限	施設栽培と高度な栽培技術		
	第8時限	復習、点検、テスト		
		⑨1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	独自に作成したプリント 「果樹栽培の基礎」等のブドウの項を参考に編集、加筆したもの			
成績評価法	試験の成績により評価する なお、テストでは講義した内容を総合的に考察する課題を出題する			
その他	果樹コースで購入した書物も参考にすること			

科目名	常緑果樹 I (ビワ栽培)		科目番号	果-4
担当教員	山下泰生	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 果樹園芸コース	開講時期	9~10月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	ビワの生理・生態的特性や主要な品種とその特性、栽培方法などを理解する。			
授業概要	ビワは本県が全国に誇る代表的な果樹であり、その生産量は3位となる事もある。本県での生産動向をはじめ、生理生態、品種特性やせん定、摘果、摘蕾法等の主要な栽培方法について講義する。			
授業計画	第1時限 第2時限	ビワの生産動向、分類と来歴及び品種の特性		
	第3時限 第4時限	樹体の特性と生理、主要な栽培管理		
	第5時限 第6時限	生理障害と栽培技術上の重要病害、今後の栽培上の問題点、現場講義		
	第7時限 第8時限	復習、点検 テスト		
	⑨1回に2時限分を実施する			
	テキスト、参考書	独自に作成したプリント 「果樹栽培の基礎」のビワの項を参考に編集、加筆したもの		
	成績評価法	主に試験(テスト)の成績により評価する 適宜、小テストを実施する なお、最終テストでは講義した内容を総合的に考察する課題を出題する		
	その他	果樹コースで購入した書物も参考にすること		

科目名	落葉果樹 I (キウイフルーツ栽培)		科目番号	果-5
担当教員	伊賀悠人	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 果樹園芸コース	開講時期	1月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	キウイフルーツの生理・生態的特性や主要な品種とその特性、栽培方法などを理解する。			
授業概要	本県の特産果樹であるキウイフルーツについて、全国及び本県での生産動向をはじめ、生理生態、品種特性やせん定、摘果、摘蕾法等の主要な栽培方法について講義する。			
授業計画	第1時限 第2時限	キウイフルーツの生産動向、樹体の特性と生理		
	第3時限 第4時限	分類と来歴及び品種の特性		
	第5時限 第6時限	主要な栽培管理(植栽方法、結実管理、整枝・せん定法等)		
	第7時限 第8時限	重要病害虫の生態と防除方法		
		テスト		
		⑨1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	独自に作成したプリント 「果樹栽培の基礎」等のキウイフルーツの項を参考に編集、加筆したもの			
成績評価法	試験の成績により評価する なお、テストでは講義した内容を総合的に考察する課題を出題する			
その他	果樹コースで購入した書物も参考にすること			

科目名	落葉果樹 I (モモ栽培)		科目番号	果-6
担当教員	丸尾勇治郎	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 果樹園芸コース	開講時期	11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	モモの生理・生態的特性や主要な品種とその特性、栽培方法などを理解する。			
授業概要	モモについて、全国及び本県での生産動向をはじめ、生理生態、品種特性やせん定、摘果、摘蕾法等の主要な栽培方法について講義する。			
授業計画	第1時限	モモの生産動向、樹体の特性と生理		
	第2時限	分類と来歴及び品種の特性		
	第3時限	主要な栽培管理(植栽方法、結実管理その1)		
	第4時限	主要な栽培管理(結実管理その2)		
	第5時限	主要な栽培管理(整枝・せん定法等)		
	第6時限	主要な栽培管理(土壌管理・施肥法等)		
	第7時限	重要病害虫の生態と防除方法		
	第8時限	テスト		
		⑨1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	独自に作成したプリント 「果樹栽培の基礎」のモモの項を参考に編集、加筆したもの			
成績評価法	主に試験の成績により評価する なお、テストでは講義した内容を総合的に考察する課題を出題する			
その他	果樹コースで購入した書物も参考にすること			

科目名	落葉果樹 I (カキ栽培)		科目番号	果-7
担当教員	山下泰生	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 果樹園芸コース	開講時期	4~5月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	カキの生理・生態的特性や主要な品種とその特性、栽培方法などを理解する。			
授業概要	カキについて、全国及び本県での生産動向をはじめ、生理生態、品種特性やせん定、摘果、摘蕾法等の主要な栽培方法について講義する。			
授 業 計 画	第1時限 第2時限	カキの生産動向、分類と来歴及び品種の特性		
	第3時限 第4時限	樹体の特性と生理、主要な栽培管理		
	第5時限 第6時限	生理障害と栽培技術上の重要病害、今後の栽培上の問題点、現場講義		
	第7時限 第8時限	復習、点検 テスト		
	⑨1回に2時限分を実施する			
	テキスト、参考書	独自に作成したプリント 「果樹栽培の基礎」等のカキの項を参考に編集、加筆したもの		
	成績評価法	試験とレポートの成績により評価する なお、テストでは講義した内容を総合的に考察する課題を出題する		
	その他	果樹コースで購入した書物も参考にすること		

科目名	整枝剪定	科目番号	果-8
担当教員	山下泰生	科目区分	専門教育科目
対象学年、コース	1学年 果樹園芸コース	開講時期	1月
単位数	1	必須・選択の別	必須
授業目標	果樹の整枝・剪定方法について理解する。		
授業概要	樹種別の代表的な仕立て方や結実特性に応じた剪定方法について講義する。		
授 業 計 画	第1時限	結果習性	
	第2時限	整枝・剪定の目的・用語	
	第3時限	整枝法	
	第4時限	剪定法	
	第5時限	整枝・剪定上の留意点	
	第6時限	剪定の進め方	
	第7時限	復習、点検	
	第8時限	テスト	
		⑩1回に2時限分を実施する	
テキスト、参考書	独自に作成したプリント 「図集果樹のせん定」(農文協)、「果樹栽培の基礎」を参考にする		
成績評価法	主に試験の成績により評価する テストでは講義した内容を総合的に考察する課題を出題する		
その他	果樹コースで購入した書物も参考にすること		

科目名	常緑果樹Ⅱ(オリーブ栽培)		科目番号	果-9
担当教員	川原清剛、米澤晃子(オリーブ研究所)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2学年 果樹園芸コース	開講時期	5~6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	オリーブの生理・生態的特性や主要な品種とその特性、栽培方法などを理解する。			
授業概要	本県の振興果樹であるオリーブについて、全国及び本県での生産動向をはじめ、生理生態、品種特性やせん定、収穫等の主要な栽培方法や果実の加工利用について講義する。			
授業計画	第1時限	オリーブの生産動向、樹体の特性と生理		
	第2時限	分類と来歴及び品種の特性		
	第3時限	主要な栽培管理(植栽方法、結実管理、整枝・せん定法等)		
	第4時限			
	第5時限	果実の利用(加工方法等)		
	第6時限			
	第7時限	重要病害虫の生態と防除方法		
	第8時限	テスト		
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	独自に作成したプリント			
成績評価法	試験の成績により評価する なお、テストでは講義した内容を総合的に考察する課題を出題する			
その他	果樹コースで購入した書物も参考にすること			

科目名	落葉果樹Ⅱ(その他落葉果樹栽培)		科目番号	果-10
担当教員	丸尾勇治郎	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2学年 果樹園芸コース	開講時期	11~12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	マイナー果樹(ナシ、ウメ、スモモ、イチジク)の主要な品種とその特性、栽培方法などを理解する。			
授業概要	マイナーではあるが、家庭果樹等身近に栽培されているナシ、ウメ、スモモ、イチジク等について、生理生態、品種特性や主要な栽培方法について講義する。			
授 業 計 画	第1時限	ナシの品種及び主要な管理		
	第2時限			
	第3時限	ウメの品種及び主要な管理		
	第4時限			
	第5時限	スモモの品種及び主要な管理		
	第6時限			
	第7時限	イチジクの品種及び主要な管理		
	第8時限	テスト		
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	独自に作成したプリント 「果樹栽培の基礎」等を参考に編集、加筆したもの			
成績評価法	試験の成績により評価する なお、テストでは講義した内容を総合的に考察する課題を出題する			
その他	果樹コースで購入した書物も参考にすること			

科目名	果樹経営	科目番号	果-11
担当教員	山下泰生	科目区分	専門教育科目
対象学年、コース	2学年 果樹園芸コース	開講時期	10月
単位数	1	必須・選択の別	必須
授業目標	果樹における経営の現状と問題点を理解し、果樹経営の目標やあり方について考える。		
授業概要	果樹栽培の経営的な特徴や果樹経営の実態及び問題点を講義する。		
授業計画	第1時限	香川型果樹経営の概要	
	第2時限	果樹農業の好循環と連携の強化 ・ ブランド化など戦略的な需要拡大	
	第3時限	担い手の育成・確保	
	第4時限	生産基盤の強化 ・ 輸出に向けた取り組み	
	第5時限	果樹経営の推奨品目と将来ビジョン	
	第6時限	自然的・経済的条件に対応した果樹経営の指標(個別経営体・認定就農者)	
	第7時限	土地改良と生産基盤の整備 果実の流通及び加工の合理化	
	第8時限	食の安全・安心に関する取り組み等 テスト	
		⑨1回に2時限分を実施する	
テキスト、参考書	県果樹振興計画、果樹産地構造計画等及び独自に作成したプリントを参考にする		
成績評価法	提出されたレポートにより評価する		
その他			

科目名	果樹演習 I		科目番号	果-12
担当教員	山下泰生・丸尾勇治郎	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 果樹園芸コース	開講時期	6、2月	
単位数	1(2学年と併せて5)	必須・選択の別	必須	
授業目標	果樹栽培における基本的な知識の習得と問題解決能力の向上を図る。			
授業概要	果樹栽培に必要な基本的な知識について講義と演習を行う。			
授 業 計 画	第1時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
	第2時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
	第3時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
	第4時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
	第5時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
	第6時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
	第7時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
	第8時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
	第9時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
	第10時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	独自に作成したプリント、香川の果樹(JA香川県)			
成績評価法	主に受講態度、提出物により評価する			
その他				

科目名	果樹演習Ⅱ		科目番号	果-13
担当教員	山下泰生・丸尾勇治郎	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2学年 果樹園芸コース	開講時期	4～9月	
単位数	4(1学年と併せて5)	必須・選択の別	必須	
授業目標	果樹栽培における基本的な知識の習得と問題解決能力の向上を図る。			
授業概要	果樹栽培に必要な基本的な知識について講義と演習を行う。			
授 業 計 画	第1時限 第2時限 第3時限 第4時限 第5時限 第6時限 第7時限 第8時限 第9時限 第10時限 第11時限 第12時限 第13時限 第14時限 第15時限 第16時限 第17時限 第18時限 第19時限 第20時限 第21時限 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 第42時限	果樹栽培の基本知識(講義、演習)		
テキスト、参考書	独自に作成したプリント			
成績評価法	主に受講態度、提出物により評価する			
その他				

②1回に2時限分を実施する

科目名	卒論課題演習		科目番号	果-14
担当教員	山下泰生・丸尾勇治郎	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2学年 果樹園芸コース	開講時期	12～1月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	卒業論文の課題発表内容をモデル的な発表事例を参考にしながらより良いものに仕上げる。			
授業概要	自主的な学習とし、最終的には卒業論文をより良いものに仕上げる。			
授 業 計 画	第1時限	} 卒業論文の取りまとめ方法の検討		
	第2時限			
	第3時限			
	第4時限			
	第5時限			
	第6時限			
	第7時限			
	第8時限			
	第9時限			
	第10時限			
⑨1回に2時限または4時限分を実施する				
テキスト、参考書				
成績評価法	卒業論文			
その他				

科目名	農場実習		科目番号	果-15
担当教員	山下泰生・丸尾勇治郎		科目区分	専門教育科目
対象学年、コース	1年生 果樹園芸コース		開講時期	通年
単位数	10		必須・選択の別	必須
授業目標	果樹経営における実践的に栽培管理技術を習得する。			
授業概要	果樹経営を实践上、必要な栽培管理技術、調製・出荷技術などを習得する栽培方法を習得する。			
授 業 計 画	第1時限	ナシ:人工授粉・予備摘果、スモモ:粗摘果、モモ:摘蕾・摘果、キウイ:芽かぎ、摘芯・誘引、摘蕾・冷凍貯蔵用花粉採取・人工授粉、ブドウ:芽かぎ、トンネル被覆、誘引・摘芯・果穂整形、カキ:摘蕾・摘果、カンキツ:摘蕾・摘果、各品目共通:灌水・病虫害防除など		
	第35時限			
	第36時限	ナシ:仕上げ摘果、袋かけ、誘引、スモモ:摘果、収穫・出荷調整、モモ:袋かけ、収穫・出荷調整、キウイ:摘果、袋かけ、誘引、ブドウ:GA処理、果房整形、摘粒、カキ:摘果、袋かけ、カンキツ:粗摘果、各品目共通:灌水・病虫害防除・除草など		
	第50時限			
	第51時限	ナシ:収穫・出荷調整、スモモ:新梢管理、モモ:新梢管理、キウイ:、ブドウ:、カキ:袋かけ、新梢管理、カンキツ:摘果、各品目共通:灌水・病虫害防除・除草など		
	第75時限			
	第76時限	ナシ:収穫・出荷調整、施肥、スモモ:施肥、モモ:施肥、キウイ:施肥、ブドウ:施肥、カキ:施肥、カンキツ:施肥、各品目共通:灌水・病虫害防除・除草など		
	第100時限			
	第101時限	ナシ:収穫・出荷調整、施肥、スモモ:施肥、モモ:施肥、キウイ:施肥、ブドウ:施肥、カキ:施肥、カンキツ:収穫・出荷調整、施肥、各品目共通:灌水・病虫害防除・除草など		
	第150時限			
第151時限	ナシ:整枝剪定、スモモ:整枝剪定、モモ:整枝剪定、キウイ:整枝剪定、ブドウ:整枝剪定、カキ:整枝剪定、カンキツ:新梢管理、各品目共通:灌水・病虫害防除・除草など			
第180時限				
第181時限	カンキツ:整枝剪定、施肥、各品目共通:園内環境整備、病虫害防除など			
第260時限				
テキスト、参考書	常緑果樹 I (カンキツ)、常緑果樹 I (ビワ)、落葉果樹 I (ブドウ)、落葉果樹 I (キウイフルーツ)、落葉果樹 I (モモ)、落葉果樹 I (ナシ)、落葉果樹 I (カキ)、整枝剪定			
成績評価法	農場実習報告書により評価			
その他	休暇中の10日を含む			

②1回に2時限分を実施する